

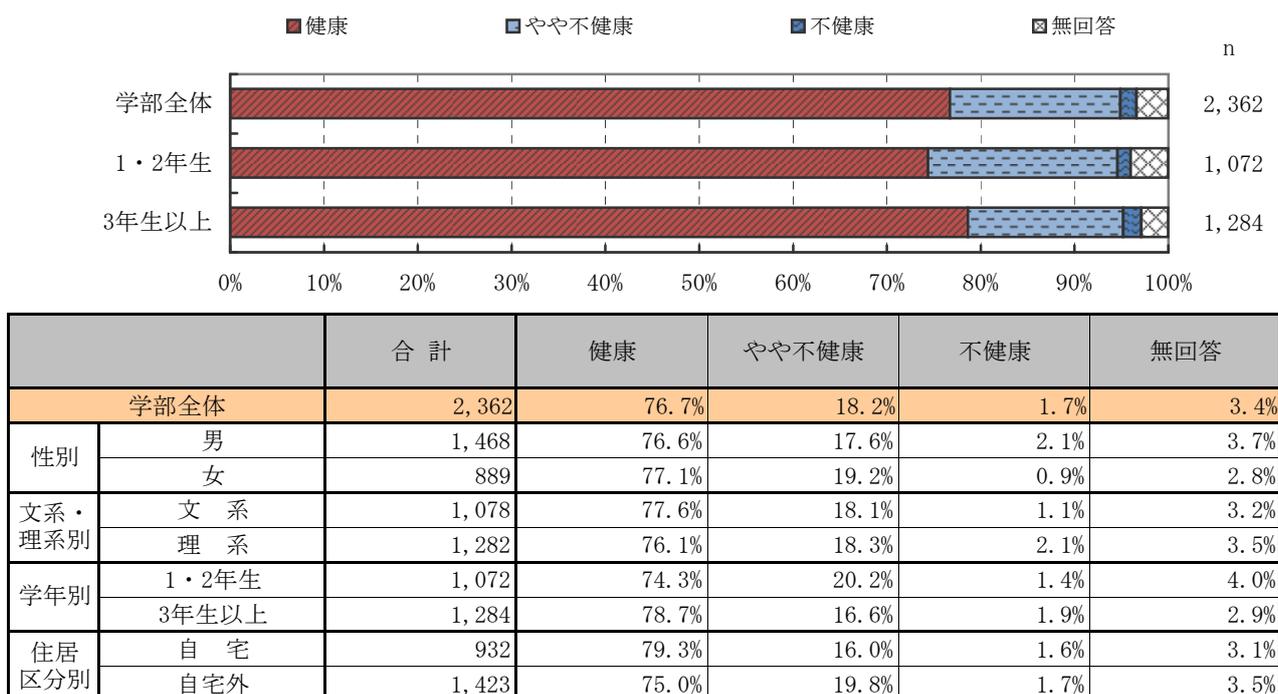
第2章 健康について

1. 健康状態

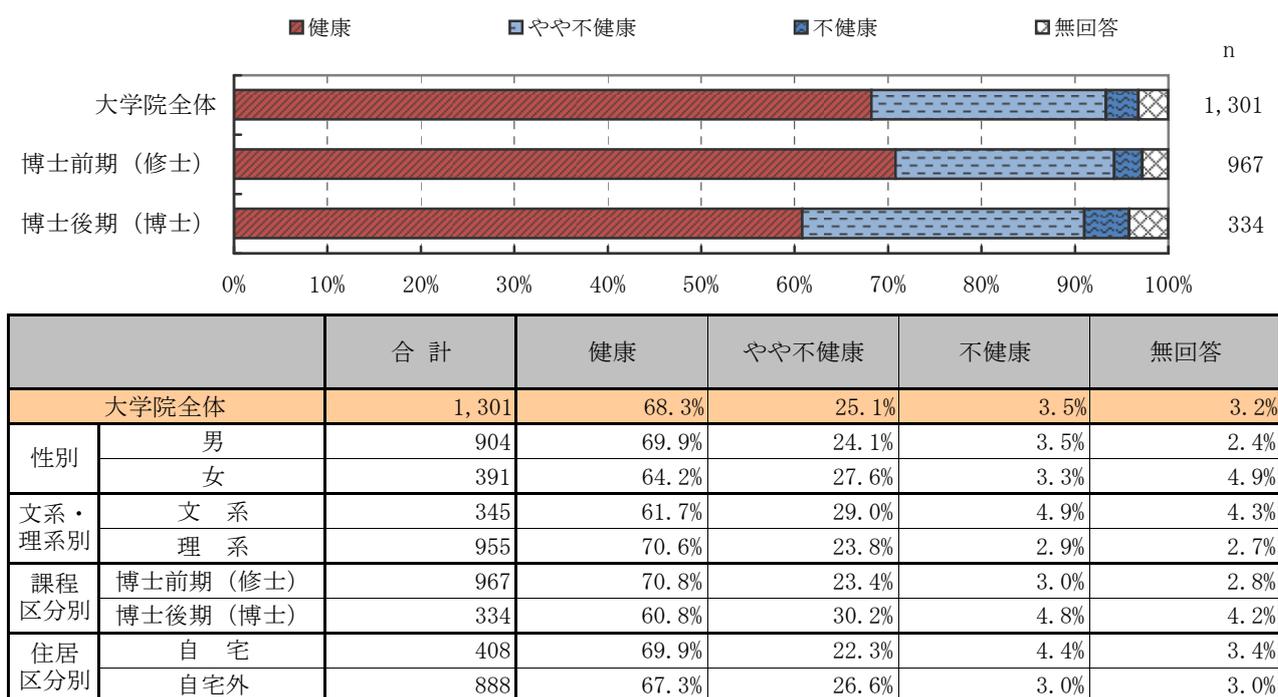
(1) 現在の健康状態

現在の健康状態について、学部生の76.7%、大学院生の68.3%が「健康」と回答する一方、「やや不健康」「不健康」を合わせた健康に不安がある学生は、学部生の19.9%、大学院生の28.6%となっている。

図表2-1 現在の健康状態（学部）



図表2-2 現在の健康状態（大学院）

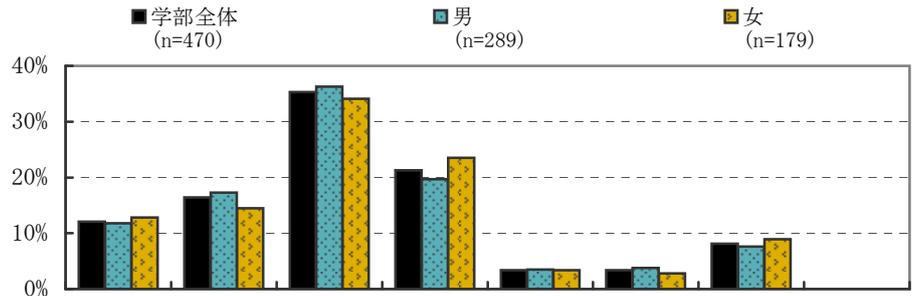


(2) 不健康の理由

現在の健康状態が「やや不健康」「不健康」な回答者に対して、不健康の理由について質問したところ、学部生・大学院生ともに「睡眠不足」（学部生の35.3%、大学院生の34.9%）が最も高く、次いで「精神的な悩み」（学部生の21.3%、大学院生の25.0%）、「不摂生」（学部生の16.4%、大学院生の23.7%）がともに続く。

図表2-3 不健康の理由（学部）

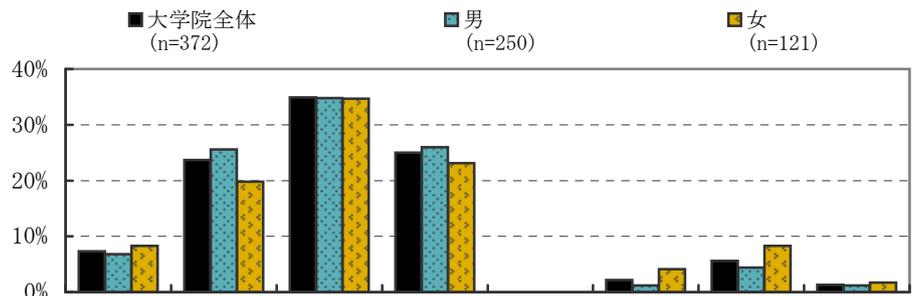
※現在の健康状態が「やや不健康」「不健康」な回答者のみ



		合計	生来病弱・病気治療中	不摂生	睡眠不足	精神的な悩み	サークル活動による過労	アルバイトによる過労	その他	無回答
学部全体		470	12.1%	16.4%	35.3%	21.3%	3.4%	3.4%	8.1%	-
性別	男	289	11.8%	17.3%	36.3%	19.7%	3.5%	3.8%	7.6%	-
	女	179	12.8%	14.5%	34.1%	23.5%	3.4%	2.8%	8.9%	-
文系・理系別	文系	207	15.5%	15.0%	31.4%	23.2%	5.3%	3.4%	6.3%	-
	理系	262	9.5%	17.6%	38.5%	19.5%	1.9%	3.4%	9.5%	-
学年別	1・2年生	232	13.4%	12.9%	38.8%	19.4%	3.4%	3.0%	9.1%	-
	3年生以上	237	11.0%	19.8%	32.1%	22.8%	3.4%	3.8%	7.2%	-
住居区分別	自宅	164	15.2%	8.5%	42.7%	15.2%	3.7%	4.3%	10.4%	-
	自宅外	306	10.5%	20.6%	31.4%	24.5%	3.3%	2.9%	6.9%	-

図表2-4 不健康の理由（大学院）

※現在の健康状態が「やや不健康」「不健康」な回答者のみ



		合計	生来病弱・病気治療中	不摂生	睡眠不足	精神的な悩み	サークル活動による過労	アルバイトによる過労	その他	無回答
大学院全体		372	7.3%	23.7%	34.9%	25.0%	-	2.2%	5.6%	1.3%
性別	男	250	6.8%	25.6%	34.8%	26.0%	-	1.2%	4.4%	1.2%
	女	121	8.3%	19.8%	34.7%	23.1%	-	4.1%	8.3%	1.7%
文系・理系別	文系	117	10.3%	16.2%	29.1%	29.9%	-	4.3%	9.4%	0.9%
	理系	255	5.9%	27.1%	37.6%	22.7%	-	1.2%	3.9%	1.6%
課程区分別	博士前期（修士）	255	5.5%	25.9%	36.5%	24.3%	-	2.4%	3.9%	1.6%
	博士後期（博士）	117	11.1%	18.8%	31.6%	26.5%	-	1.7%	9.4%	0.9%
住居区分別	自宅	109	8.3%	22.0%	38.5%	20.2%	-	2.8%	7.3%	0.9%
	自宅外	263	6.8%	24.3%	33.5%	27.0%	-	1.9%	4.9%	1.5%

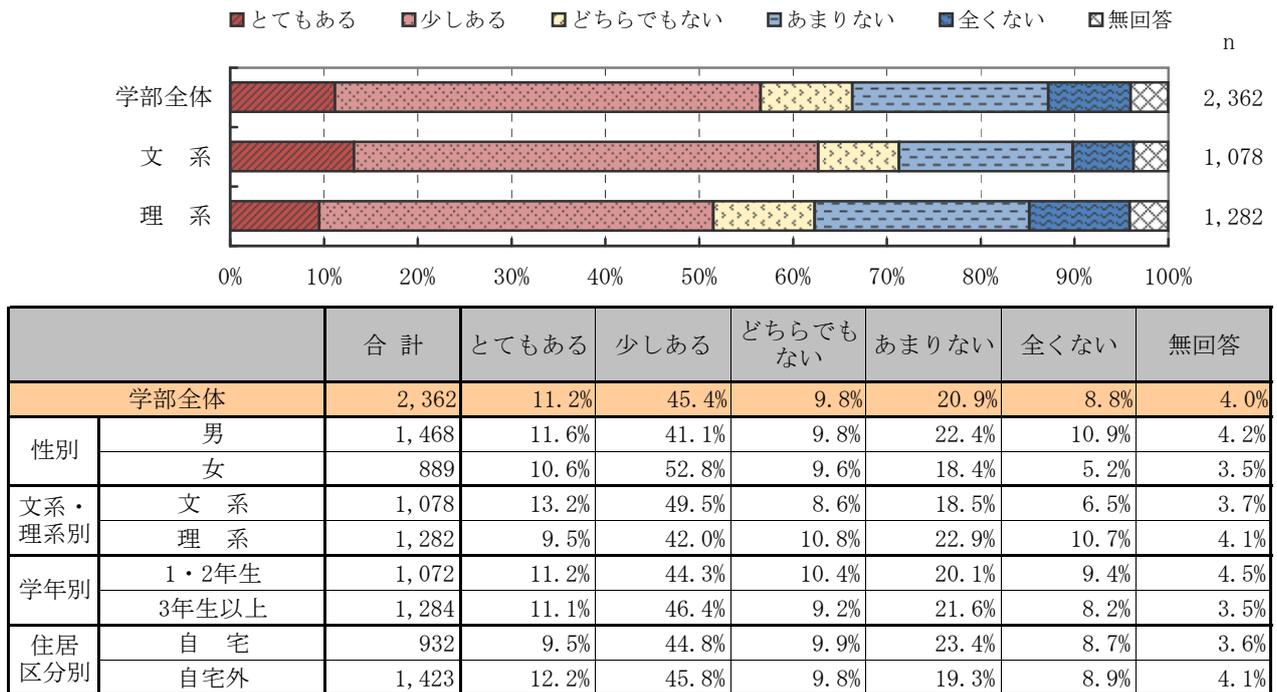
2. 悩み・不安

(1) 現在の悩み・不安の有無

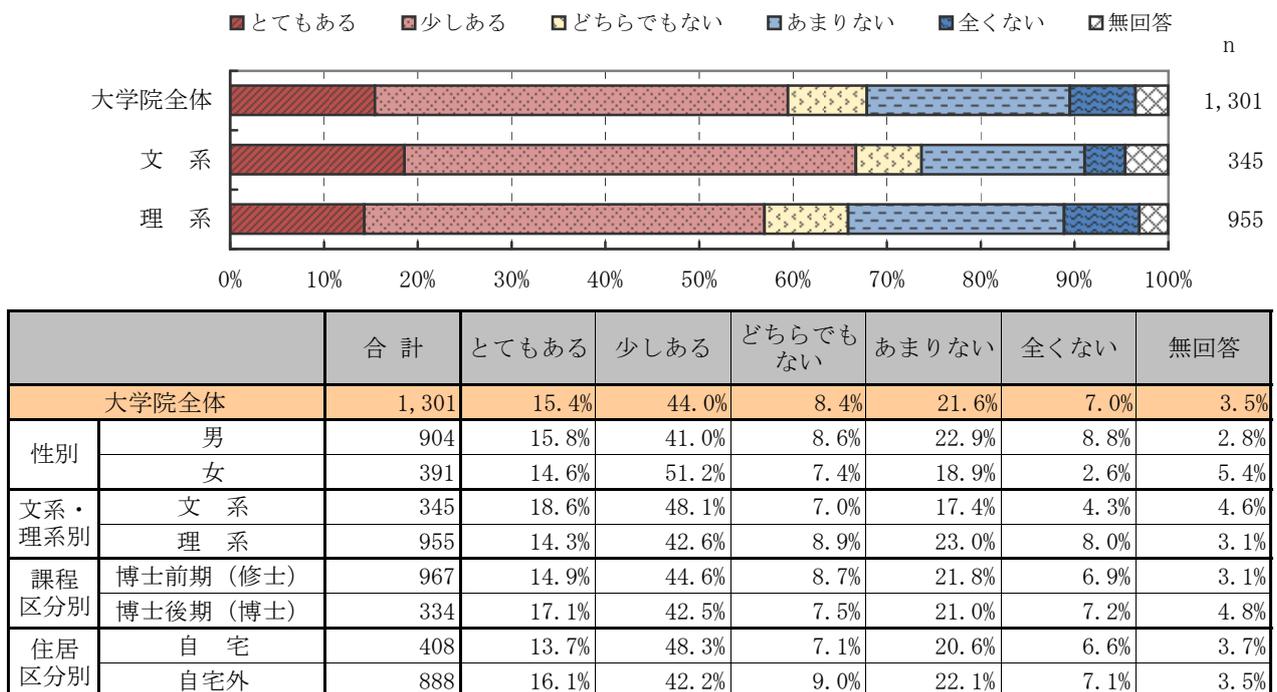
現在の悩み・不安の有無について、「とてもある」「少しある」を合わせた悩み・不安がある学生は、学部生の56.6%、大学院生の59.4%である。

回答者属性別に見ると、学部生・大学院生ともに「文系・理系別」の差異が最も大きく、文系学生は6割以上（学部生の62.7%、大学院生の66.7%）が悩み・不安があるのに対し、理系学生は5割台（学部生の51.5%、大学院生の56.9%）に留まる。

図表2-5 現在の悩み・不安の有無（学部）



図表2-6 現在の悩み・不安の有無（大学院）

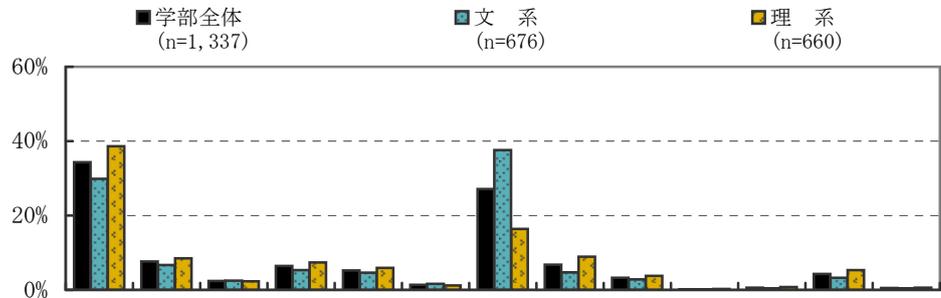


(2) 悩み・不安の主な原因

現在、悩み・不安が「とてもある」「少しある」回答者に対して、悩み・不安の主な原因を質問したところ、学部生・大学院生ともに「勉学・研究」（学部生の34.3%、大学院生の50.5%）が最も高く、次いで「就職・進路関係」（学部生の27.1%、大学院生の27.1%）と続く。

図表2-7 悩み・不安の主な原因（学部）

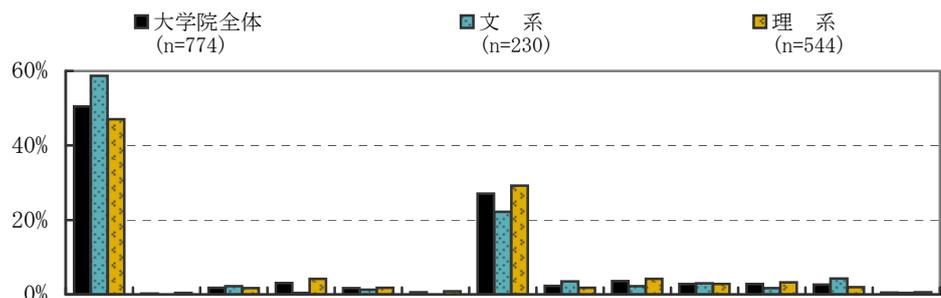
※現在、悩み・不安が「とてもある」「少しある」回答者のみ



		合計	勉学・研究	サークル活動関係	身体的不調	異性問題	交友関係	家族との関係	就職・進路関係	自分の性格	経済問題	教員との関係	研究室での人間関係	その他	無回答
学部全体		1,337	34.3%	7.6%	2.4%	6.4%	5.2%	1.4%	27.1%	6.8%	3.3%	0.2%	0.6%	4.3%	0.5%
性別	男	773	35.7%	7.4%	1.8%	8.7%	5.4%	1.2%	23.4%	7.2%	3.6%	0.1%	0.3%	4.8%	0.4%
	女	563	32.3%	7.8%	3.2%	3.2%	5.0%	1.8%	32.1%	6.2%	2.8%	0.2%	1.1%	3.6%	0.7%
文系・理系別	文系	676	29.9%	6.7%	2.5%	5.3%	4.6%	1.6%	37.6%	4.7%	2.8%	0.1%	0.4%	3.3%	0.4%
	理系	660	38.6%	8.5%	2.3%	7.4%	5.9%	1.2%	16.4%	8.9%	3.8%	0.3%	0.8%	5.3%	0.6%
学年別	1・2年生	595	29.7%	11.3%	4.2%	7.7%	8.9%	1.7%	15.6%	8.7%	4.9%	0.3%	0.2%	5.9%	0.8%
	3年生以上	739	37.6%	4.6%	0.9%	5.3%	2.3%	1.2%	36.4%	5.3%	2.0%	0.1%	0.9%	3.0%	0.3%
住居区分別	自宅	507	33.3%	8.5%	3.0%	6.7%	4.3%	3.2%	26.8%	6.5%	3.0%	0.2%	0.2%	3.9%	0.4%
	自宅外	826	34.7%	6.9%	2.1%	6.2%	5.8%	0.4%	27.2%	7.0%	3.5%	0.2%	0.8%	4.5%	0.6%

図表2-8 悩み・不安の主な原因（大学院）

※現在、悩み・不安が「とてもある」「少しある」回答者のみ



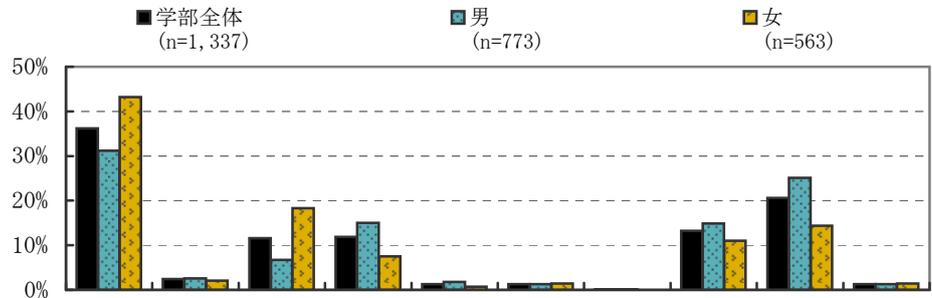
		合計	勉学・研究	サークル活動関係	身体的不調	異性問題	交友関係	家族との関係	就職・進路関係	自分の性格	経済問題	教員との関係	研究室での人間関係	その他	無回答
大学院全体		774	50.5%	0.3%	1.8%	3.1%	1.7%	0.6%	27.1%	2.3%	3.6%	2.8%	2.8%	2.7%	0.5%
性別	男	514	49.6%	0.4%	1.8%	4.1%	1.8%	0.8%	30.0%	1.8%	2.9%	2.5%	2.1%	1.9%	0.4%
	女	257	52.9%	-	1.9%	1.2%	1.2%	0.4%	21.4%	3.1%	5.1%	3.5%	4.3%	4.3%	0.8%
文系・理系別	文系	230	58.7%	-	2.2%	0.4%	1.3%	-	22.2%	3.5%	2.2%	3.0%	1.7%	4.3%	0.4%
	理系	544	47.1%	0.4%	1.7%	4.2%	1.8%	0.9%	29.2%	1.8%	4.2%	2.8%	3.3%	2.0%	0.6%
課程区分別	博士前期（修士）	575	47.7%	0.3%	1.9%	4.0%	1.9%	0.7%	28.7%	2.8%	3.1%	2.3%	3.0%	3.1%	0.5%
	博士後期（博士）	199	58.8%	-	1.5%	0.5%	1.0%	0.5%	22.6%	1.0%	5.0%	4.5%	2.5%	1.5%	0.5%
住居区分別	自宅	253	49.8%	-	1.6%	2.4%	3.2%	1.6%	23.7%	3.6%	4.7%	3.2%	3.2%	3.2%	-
	自宅外	518	50.6%	0.4%	1.9%	3.5%	1.0%	0.2%	29.0%	1.7%	3.1%	2.7%	2.7%	2.5%	0.8%

(3) 悩み・不安の解消方法

現在、悩み・不安が「とてもある」「少しある」回答者に対して、悩み・不安の解消方法を質問したところ、学部生・大学院生ともに「友人（知人）に相談」（学部生の36.2%、大学院生の34.2%）が最も高いが、学部生・大学院ともに2割強は「解消方法がない」（学部生の20.6%、大学院生の21.3%）と回答している。

図表2-9 悩み・不安の解消方法（学部）

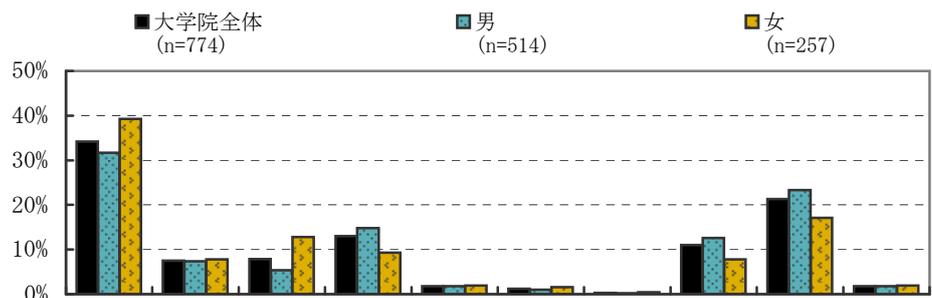
※現在、悩み・不安が「とてもある」「少しある」回答者のみ



		合計	友人（知人）に相談	教員に相談	家族に相談	スポーツ・娯楽	旅行	学内の相談室	学外の相談室	その他	解消方法がない	無回答
学部全体		1,337	36.2%	2.4%	11.6%	11.9%	1.3%	1.3%	0.1%	13.2%	20.6%	1.3%
性別	男	773	31.2%	2.6%	6.7%	15.0%	1.8%	1.3%	0.1%	14.9%	25.1%	1.3%
	女	563	43.2%	2.1%	18.3%	7.5%	0.7%	1.4%	-	11.0%	14.4%	1.4%
文系・理系別	文系	676	39.9%	1.8%	15.2%	7.8%	0.7%	1.3%	0.1%	13.9%	17.2%	1.9%
	理系	660	32.3%	3.0%	7.9%	16.1%	2.0%	1.4%	-	12.6%	24.1%	0.8%
学年別	1・2年生	595	31.9%	0.7%	12.4%	13.3%	1.3%	0.8%	-	15.3%	22.4%	1.8%
	3年生以上	739	39.8%	3.8%	11.0%	10.8%	1.4%	1.8%	0.1%	11.4%	19.1%	0.9%
住居区分別	自宅	507	35.5%	1.6%	12.2%	12.6%	2.0%	0.8%	0.2%	13.4%	20.5%	1.2%
	自宅外	826	36.6%	2.9%	11.3%	11.5%	1.0%	1.7%	-	13.1%	20.6%	1.5%

図表2-10 悩み・不安の主な原因（大学院）

※現在、悩み・不安が「とてもある」「少しある」回答者のみ



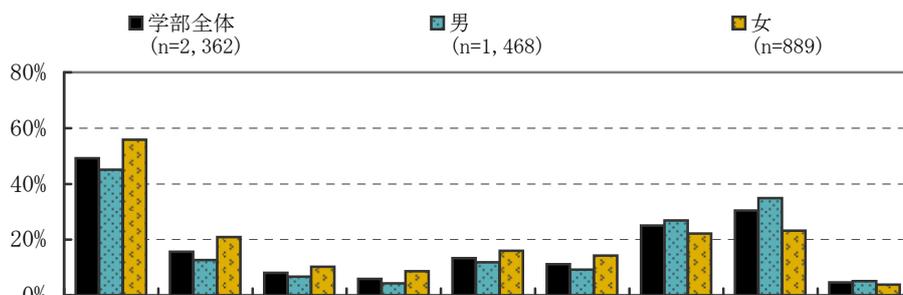
		合計	友人（知人）に相談	教員に相談	家族に相談	スポーツ・娯楽	旅行	学内の相談室	学外の相談室	その他	解消方法がない	無回答
大学院全体		774	34.2%	7.5%	7.9%	13.0%	1.8%	1.2%	0.3%	11.0%	21.3%	1.8%
性別	男	514	31.7%	7.4%	5.4%	14.8%	1.8%	1.0%	0.2%	12.6%	23.3%	1.8%
	女	257	39.3%	7.8%	12.8%	9.3%	1.9%	1.6%	0.4%	7.8%	17.1%	1.9%
文系・理系別	文系	230	34.8%	9.6%	10.4%	10.9%	2.2%	1.3%	0.4%	9.6%	18.3%	2.6%
	理系	544	34.0%	6.6%	6.8%	14.0%	1.7%	1.1%	0.2%	11.6%	22.6%	1.5%
課程区分別	博士前期（修士）	575	36.0%	6.4%	7.3%	13.7%	1.9%	1.4%	0.2%	10.3%	20.9%	1.9%
	博士後期（博士）	199	29.1%	10.6%	9.5%	11.1%	1.5%	0.5%	0.5%	13.1%	22.6%	1.5%
住居区分別	自宅	253	28.5%	10.7%	11.1%	9.9%	3.2%	1.2%	0.4%	11.5%	20.6%	3.2%
	自宅外	518	37.3%	5.6%	6.2%	14.7%	1.2%	1.2%	0.2%	10.8%	21.8%	1.2%

3. 各相談室の認知状況

各相談室の認知状況について、学部生・大学院生ともに「保健センター学生相談室」（学部生の49.2%、大学院生の59.2%）が最も高い。次いで、学部生では「各学部・研究科の相談室」が25.1%、大学院生では「セクシャル・ハラスメント相談室」が27.7%、「各学部・研究科の相談室」が27.4%と、僅差で続く。キャンパスライフ支援センターは2013年6月に整備されており、認知の低さにつながっているものと考えられる。

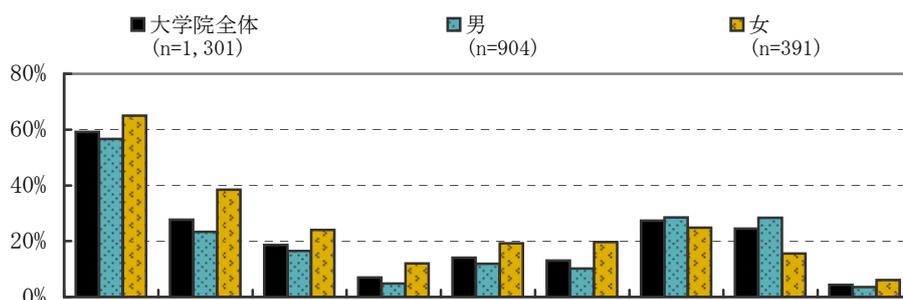
なお、学部生の30.5%、大学院生の24.5%は「いずれも知らない」と回答している。

図表2-11 各相談室の認知状況（学部）【複数回答】



	合計	保健センター学生相談室	セクシャル・ハラスメント相談室	アカデミック・バリア等ハラスメント相談室	キャンパスライフ支援センター障害学生支援ユニット	キャンパスライフ支援センター学生生活支援ユニット	キャンパスライフ支援センターキャリア支援ユニット	各学部・研究科の相談室	いずれも知らない	無回答	
学部全体	2,362	49.2%	15.7%	8.1%	6.0%	13.4%	11.2%	25.1%	30.5%	4.7%	
性別	男	1,468	45.1%	12.7%	6.8%	4.4%	11.9%	9.3%	26.9%	34.9%	5.1%
	女	889	55.9%	20.9%	10.3%	8.7%	16.0%	14.3%	22.2%	23.2%	3.9%
文系・理系別	文系	1,078	55.0%	19.5%	9.7%	8.6%	19.4%	17.3%	20.7%	24.4%	4.5%
	理系	1,282	44.3%	12.6%	6.8%	3.8%	8.4%	6.1%	28.9%	35.6%	4.8%
学年別	1・2年生	1,072	46.5%	13.8%	7.3%	5.6%	12.4%	7.7%	25.3%	32.4%	5.0%
	3年生以上	1,284	51.5%	17.4%	8.9%	6.4%	14.3%	14.0%	25.2%	28.9%	4.4%
住居区分別	自宅	932	46.9%	16.5%	7.6%	6.5%	13.9%	11.9%	26.6%	31.0%	4.5%
	自宅外	1,423	50.7%	15.2%	8.5%	5.7%	13.1%	10.8%	24.2%	30.3%	4.6%

図表2-12 各相談室の認知状況（大学院）【複数回答】



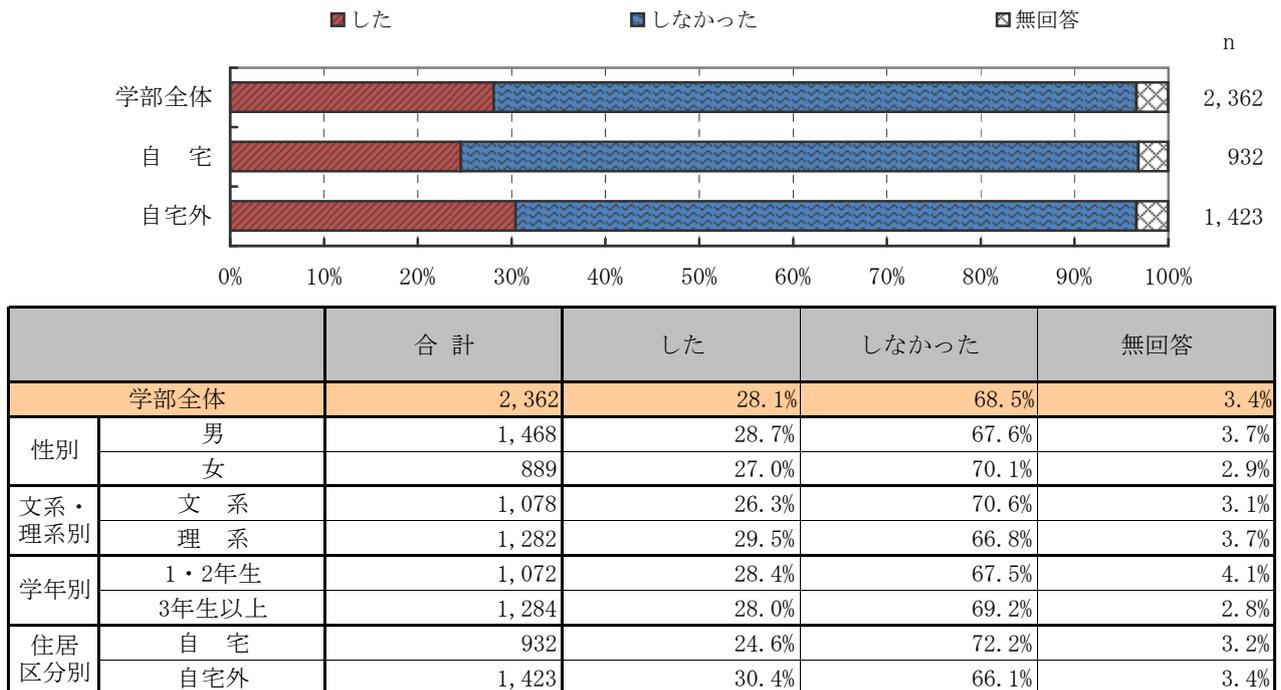
	合計	保健センター学生相談室	セクシャル・ハラスメント相談室	アカデミック・バリア等ハラスメント相談室	キャンパスライフ支援センター障害学生支援ユニット	キャンパスライフ支援センター学生生活支援ユニット	キャンパスライフ支援センターキャリア支援ユニット	各学部・研究科の相談室	いずれも知らない	無回答	
大学院全体	1,301	59.2%	27.7%	18.7%	7.0%	14.1%	13.1%	27.4%	24.5%	4.3%	
性別	男	904	56.6%	23.3%	16.5%	4.8%	11.9%	10.2%	28.5%	28.4%	3.5%
	女	391	65.0%	38.4%	24.0%	12.0%	19.2%	19.7%	24.8%	15.6%	6.1%
文系・理系別	文系	345	62.0%	35.9%	23.8%	11.6%	17.7%	17.1%	24.1%	20.6%	4.9%
	理系	955	58.1%	24.7%	16.8%	5.3%	12.8%	11.7%	28.6%	26.0%	4.1%
課程区分別	博士前期（修士）	967	58.3%	25.6%	15.9%	6.2%	13.5%	13.1%	28.0%	25.7%	3.5%
	博士後期（博士）	334	61.7%	33.8%	26.6%	9.3%	15.6%	13.2%	25.7%	21.0%	6.6%
住居区分別	自宅	408	55.6%	28.4%	18.9%	6.9%	14.2%	13.7%	26.0%	26.5%	3.9%
	自宅外	888	60.8%	27.3%	18.7%	7.0%	14.1%	13.0%	28.0%	23.6%	4.5%

4. 病気・負傷

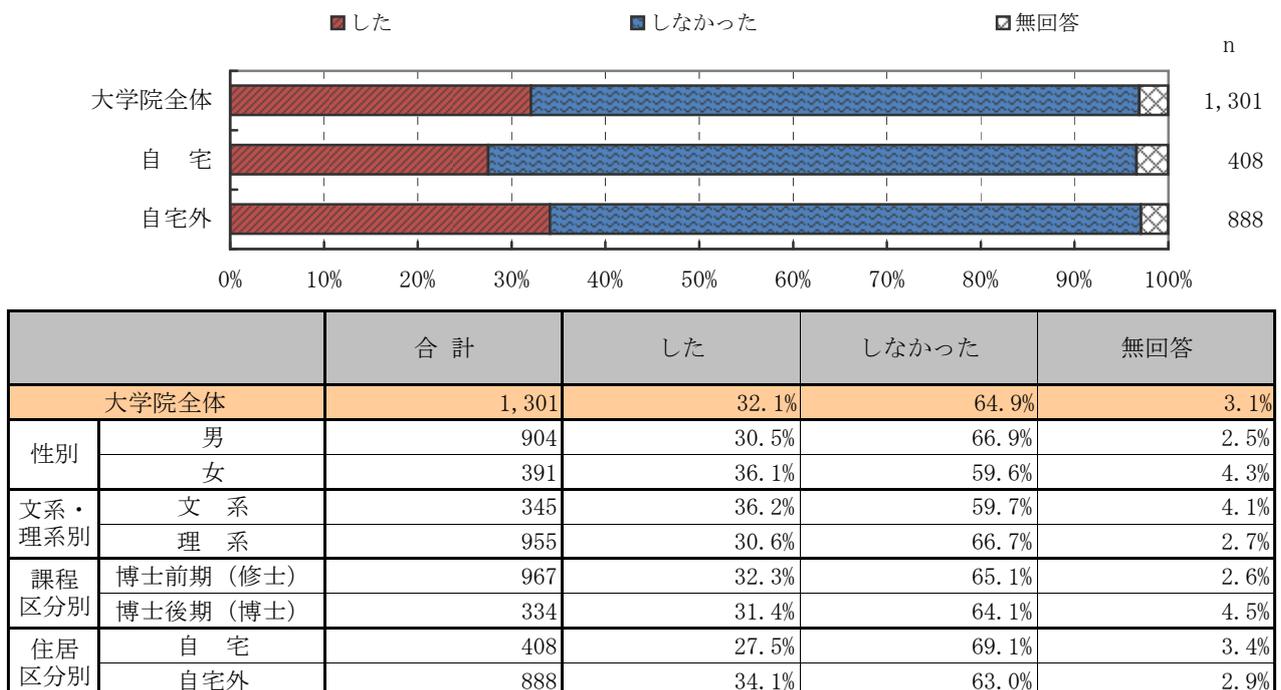
(1) 4月以降の病気の有無

4月以降の病気の有無について、学部生の28.1%、大学院生の32.1%が病気を「した」と回答している。回答者属性別に見ると、学部生・大学院生ともに「住居区分別」の差異が最も大きく、自宅学生で病気をしたのは2割台（学部生の24.6%、大学院生の27.5%）であるのに対し、自宅外学生は3割以上（学部生の30.4%、大学院生の34.1%）が病気をしている。

図表2-13 4月以降の病気の有無（学部）



図表2-14 4月以降の病気の有無（大学院）



(2) 病気の種類

4月以降に病気を「した」回答者に対して、病気の種類を質問したところ、学部生・大学院生ともに「風邪」（学部生の80.4%、大学院生の73.6%）が抜き出て高い。次いで、学部生は「消化器系」（15.1%）、大学院生は「歯」（16.8%）が挙げられる。

図表2-15 病気の種類（学部）【複数回答】

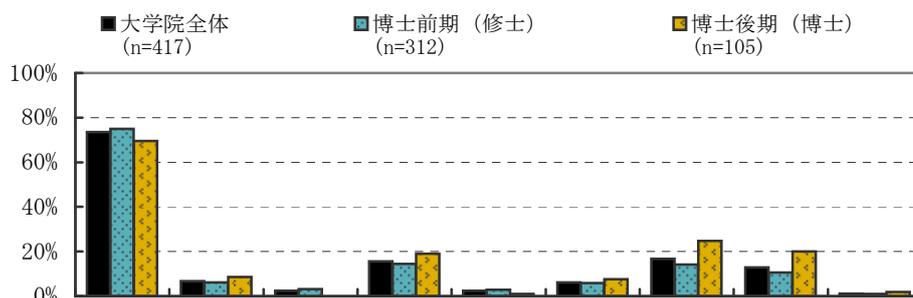
※4月以降に病気を「した」回答者のみ



		合計	風邪	呼吸器系	循環器系	消化器系	泌尿器系	神経・精神	歯	その他	無回答
学部全体		663	80.4%	7.1%	1.2%	15.1%	2.1%	4.4%	9.7%	9.2%	1.7%
性別	男	421	81.0%	7.4%	1.0%	14.5%	1.9%	4.8%	9.7%	7.1%	2.1%
	女	240	79.2%	6.7%	1.7%	16.3%	2.5%	3.8%	9.6%	12.9%	0.8%
文系・理系別	文系	284	79.6%	8.5%	2.1%	14.4%	1.4%	4.6%	9.9%	10.9%	1.8%
	理系	378	81.0%	6.1%	0.5%	15.6%	2.6%	4.2%	9.5%	7.9%	1.6%
学年別	1・2年生	304	85.5%	9.5%	1.3%	11.2%	1.6%	3.9%	6.6%	8.9%	1.3%
	3年生以上	359	76.0%	5.0%	1.1%	18.4%	2.5%	4.7%	12.3%	9.5%	1.9%
住居区分別	自宅	229	84.3%	7.4%	0.4%	14.4%	0.9%	5.2%	10.5%	7.4%	1.3%
	自宅外	433	78.5%	6.9%	1.6%	15.5%	2.8%	3.7%	9.2%	10.2%	1.8%

図表2-16 病気の種類（大学院）【複数回答】

※4月以降に病気を「した」回答者のみ

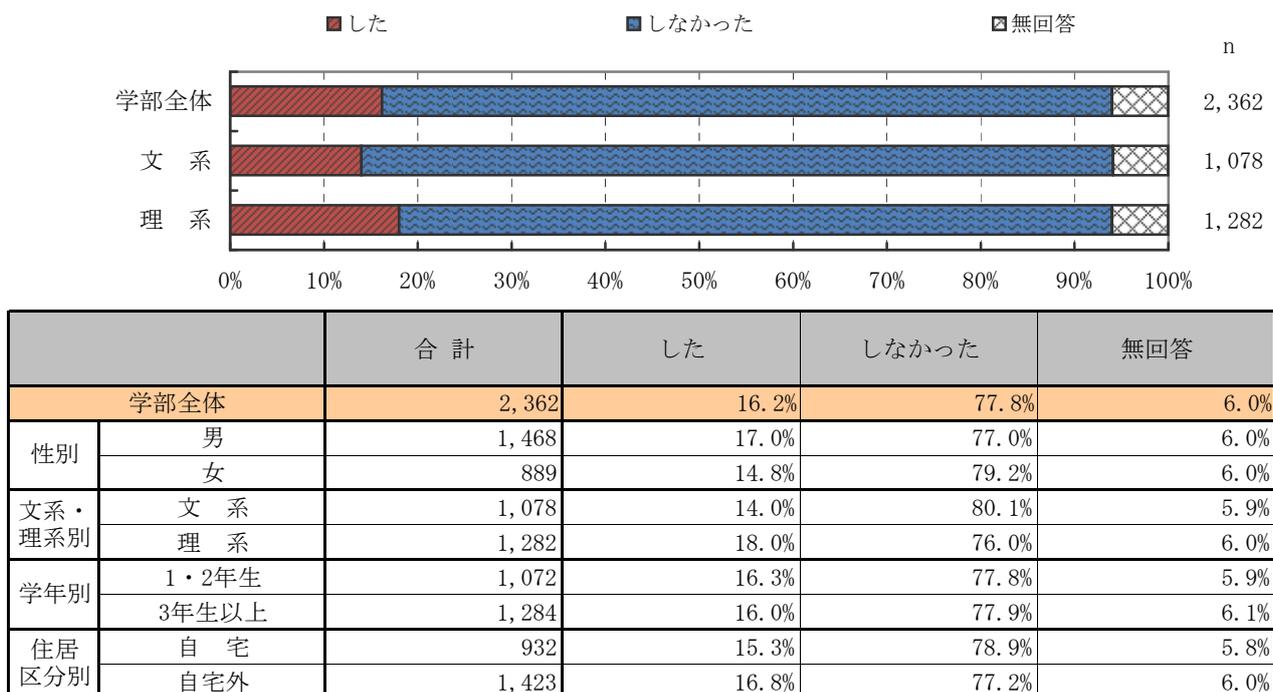


		合計	風邪	呼吸器系	循環器系	消化器系	泌尿器系	神経・精神	歯	その他	無回答
大学院全体		417	73.6%	6.7%	2.4%	15.6%	2.4%	6.2%	16.8%	12.9%	1.2%
性別	男	276	76.4%	5.8%	2.5%	14.5%	1.4%	5.8%	14.5%	9.8%	0.4%
	女	141	68.1%	8.5%	2.1%	17.7%	4.3%	7.1%	21.3%	19.1%	2.8%
文系・理系別	文系	125	76.0%	8.0%	1.6%	16.8%	2.4%	3.2%	20.8%	16.8%	3.2%
	理系	292	72.6%	6.2%	2.7%	15.1%	2.4%	7.5%	15.1%	11.3%	0.3%
課程区分別	博士前期（修士）	312	75.0%	6.1%	3.2%	14.4%	2.9%	5.8%	14.1%	10.6%	1.0%
	博士後期（博士）	105	69.5%	8.6%	-	19.0%	1.0%	7.6%	24.8%	20.0%	1.9%
住居区分別	自宅	112	79.5%	3.6%	2.7%	9.8%	0.9%	5.4%	16.1%	11.6%	0.9%
	自宅外	303	71.3%	7.9%	2.3%	17.8%	3.0%	6.6%	16.8%	13.5%	1.3%

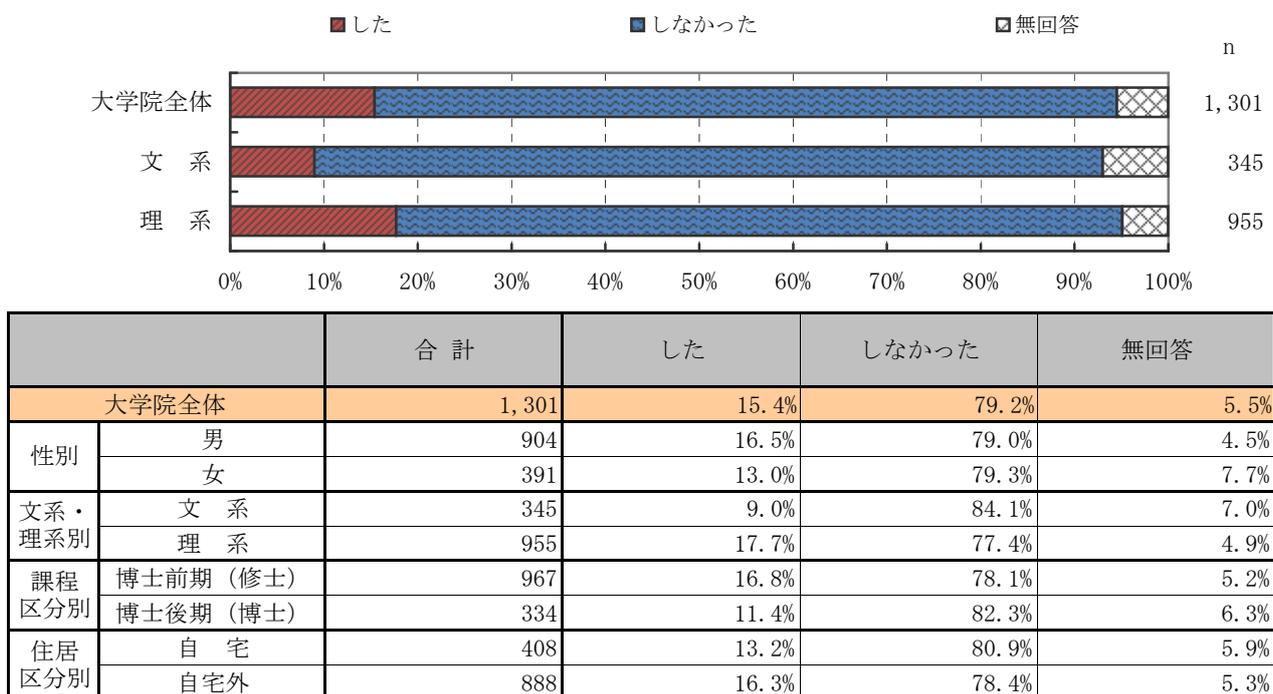
(3) 4月以降の負傷の有無

4月以降の負傷の有無について、学部生の16.2%、大学院生の15.4%が負傷を「した」と回答している。回答者属性別に見ると、学部生・大学院生ともに「文系・理系別」の差異が最も大きく、理系学生の方が文系学生より負傷をした比率が高い。

図表2-17 4月以降の負傷の有無（学部）



図表2-18 4月以降の負傷の有無（大学院）

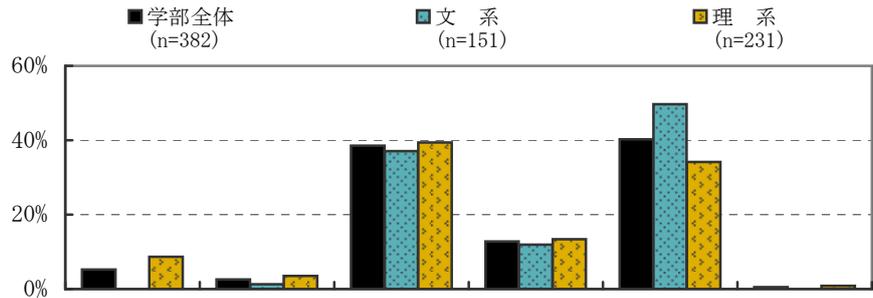


(4) 負傷時の状況

4月以降に負傷を「した」回答者に対して、負傷時の状況を質問したところ、学部生・大学院生ともに「それ以外のとき」（学部生の40.3%、大学院生の49.0%）が最も高い。次いで、学部生は「サークル活動中」（38.5%）、大学院生は「通学途中」（27.5%）が挙げられる。

図表2-19 負傷時の状況（学部）

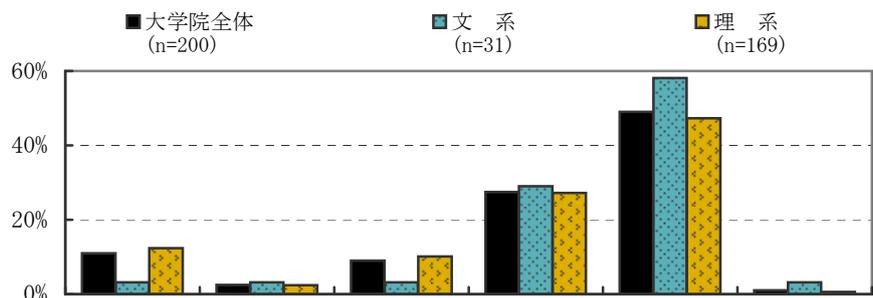
※4月以降に負傷を「した」回答者のみ



		合計	実験実習中	体育実技中	サークル活動中	通学途中	それ以外のとき	無回答
学部全体		382	5.2%	2.6%	38.5%	12.8%	40.3%	0.5%
性別	男	249	5.2%	2.4%	43.4%	11.6%	36.9%	0.4%
	女	132	5.3%	3.0%	29.5%	15.2%	46.2%	0.8%
文系・理系別	文系	151	-	1.3%	37.1%	11.9%	49.7%	-
	理系	231	8.7%	3.5%	39.4%	13.4%	34.2%	0.9%
学年別	1・2年生	175	1.7%	4.0%	45.7%	11.4%	36.0%	1.1%
	3年生以上	206	8.3%	1.5%	32.0%	14.1%	44.2%	-
住居区分別	自宅	143	7.0%	3.5%	35.7%	16.1%	36.4%	1.4%
	自宅外	239	4.2%	2.1%	40.2%	10.9%	42.7%	-

図表2-20 負傷時の状況（大学院）

※4月以降に負傷を「した」回答者のみ



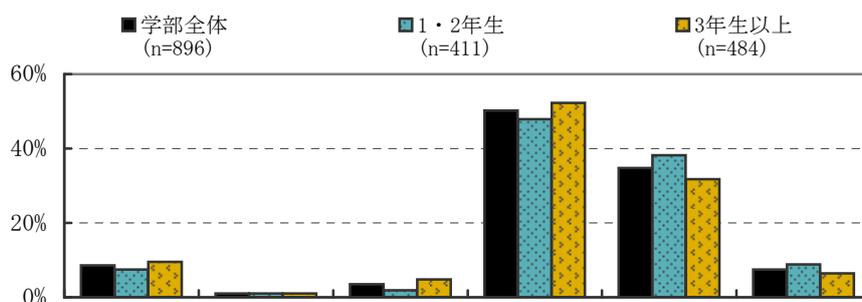
		合計	実験実習中	体育実技中	サークル活動中	通学途中	それ以外のとき	無回答
大学院全体		200	11.0%	2.5%	9.0%	27.5%	49.0%	1.0%
性別	男	149	11.4%	3.4%	11.4%	26.2%	47.7%	-
	女	51	9.8%	-	2.0%	31.4%	52.9%	3.9%
文系・理系別	文系	31	3.2%	3.2%	3.2%	29.0%	58.1%	3.2%
	理系	169	12.4%	2.4%	10.1%	27.2%	47.3%	0.6%
課程区分別	博士前期（修士）	162	9.3%	1.9%	10.5%	26.5%	51.2%	0.6%
	博士後期（博士）	38	18.4%	5.3%	2.6%	31.6%	39.5%	2.6%
住居区分別	自宅	54	11.1%	-	9.3%	24.1%	53.7%	1.9%
	自宅外	145	11.0%	3.4%	9.0%	29.0%	46.9%	0.7%

(5) 病気・負傷の治療に利用した医療機関

4月以降に病気または負傷を「した」回答者に、治療に利用した医療機関について質問したところ、学部生・大学院生ともに「その他の病院・医院等」（学部生の50.2%、大学院生の51.7%）が最も高い。「本学保健センター」の利用は、学部生の8.6%、大学院生の13.4%である。なお、「医療機関にかからなかった」学生も多く、学部生の34.8%、大学院生の27.2%は、何れの医療機関にもかかっていない。

図表2-21 病気・負傷の治療に利用した医療機関（学部）【複数回答】

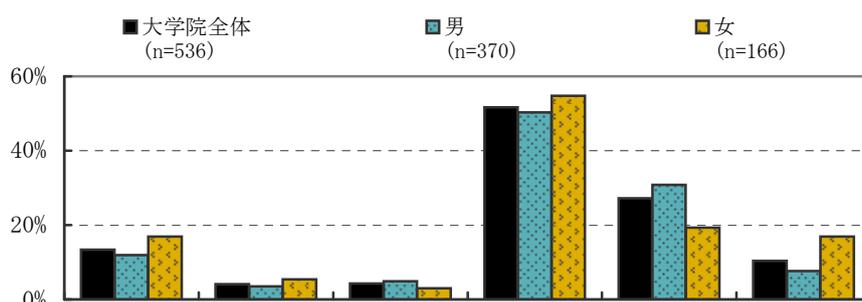
※4月以降に病気または負傷を「した」回答者のみ



		合計	本学保健センター	阪大病院	本学指定の学外病院	その他の病院・医院等	医療機関にかからなかった	無回答
学部全体		896	8.6%	1.0%	3.5%	50.2%	34.8%	7.5%
性別	男	571	7.7%	1.2%	3.2%	48.3%	37.3%	7.5%
	女	322	10.2%	0.6%	4.0%	53.4%	30.4%	7.5%
文系・理系別	文系	378	8.7%	1.1%	2.9%	56.1%	29.1%	9.0%
	理系	517	8.3%	1.0%	3.7%	46.0%	39.1%	6.4%
学年別	1・2年生	411	7.5%	1.0%	1.9%	47.9%	38.2%	8.8%
	3年生以上	484	9.5%	1.0%	4.8%	52.3%	31.8%	6.4%
住居区分別	自宅	324	4.9%	0.6%	1.9%	54.6%	33.0%	8.0%
	自宅外	571	10.7%	1.2%	4.4%	47.6%	35.9%	7.2%

図表2-22 病気・負傷の治療に利用した医療機関（大学院）【複数回答】

※4月以降に病気または負傷を「した」回答者のみ



		合計	本学保健センター	阪大病院	本学指定の学外病院	その他の病院・医院等	医療機関にかからなかった	無回答
大学院全体		536	13.4%	4.1%	4.3%	51.7%	27.2%	10.4%
性別	男	370	11.9%	3.5%	4.9%	50.3%	30.8%	7.6%
	女	166	16.9%	5.4%	3.0%	54.8%	19.3%	16.9%
文系・理系別	文系	137	19.0%	3.6%	5.8%	55.5%	19.0%	13.9%
	理系	399	11.5%	4.3%	3.8%	50.4%	30.1%	9.3%
課程区分別	博士前期（修士）	405	14.1%	4.4%	4.2%	48.9%	28.9%	10.6%
	博士後期（博士）	131	11.5%	3.1%	4.6%	60.3%	22.1%	9.9%
住居区分別	自宅	147	8.2%	1.4%	3.4%	54.4%	29.9%	9.5%
	自宅外	386	15.3%	5.2%	4.7%	51.0%	26.2%	10.6%

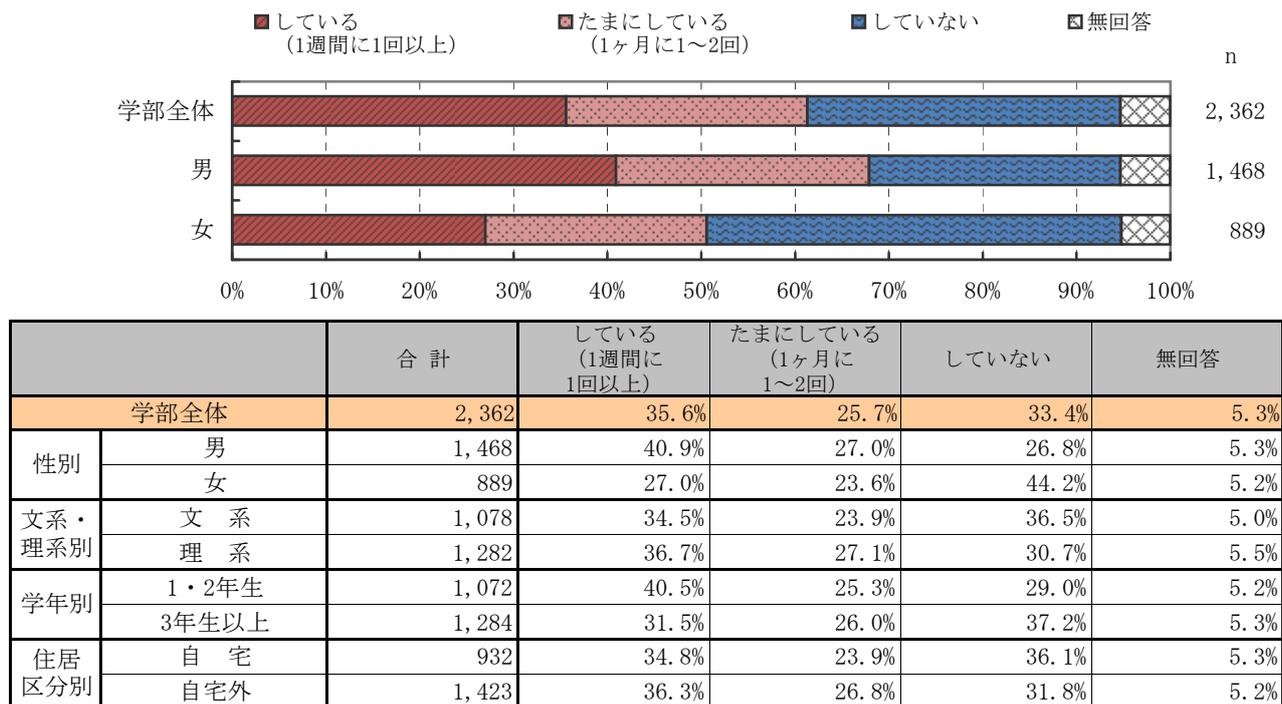
5. 運動

運動の頻度について、学部生では、「している（1週間に1回以上）」が35.6%と最も高く、「している（1週間に1回以上）」「たまにしている（1ヶ月に1～2回）」を合わせた運動をしている回答者は61.3%である。

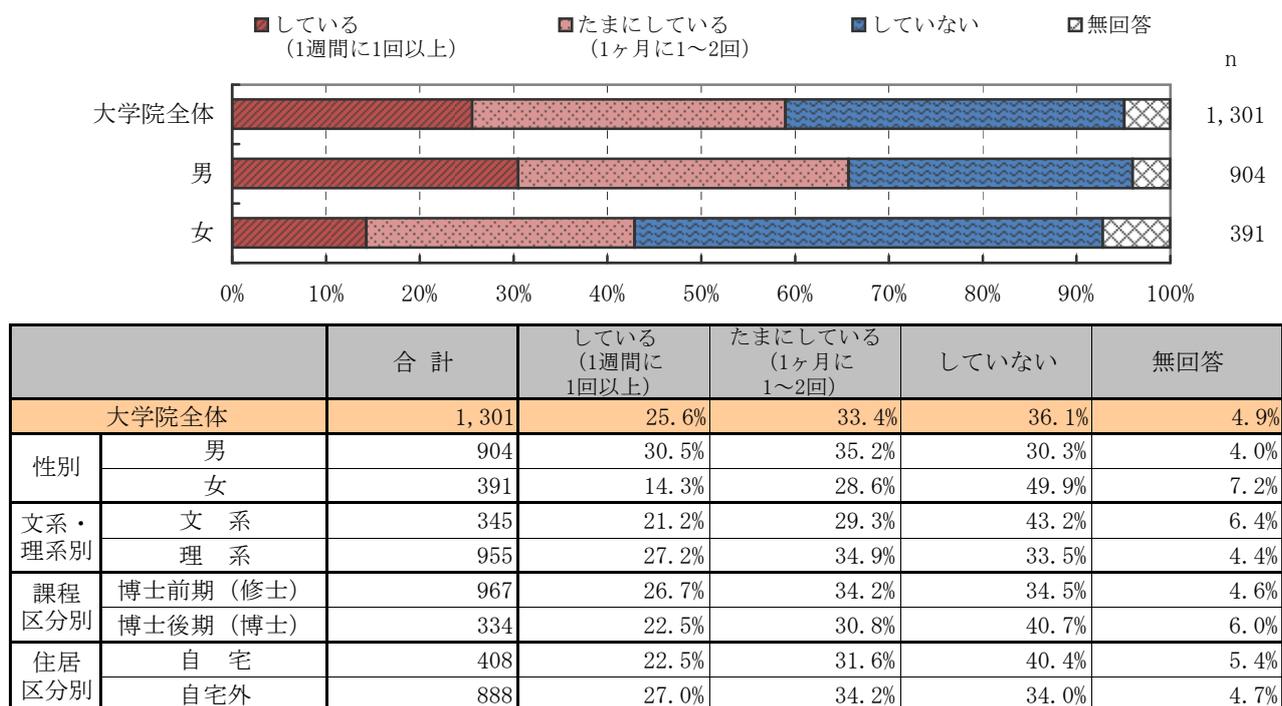
一方、大学院生では、「していない」が36.1%と最も高い。

回答者属性別に見ると、学部生・大学院生ともに「性別」の差異が最も大きく、運動をしていない比率は、男では、学部生の26.8%、大学院生の30.3%であるのに対し、女は4割以上（学部生の44.2%、大学院生の49.9%）が運動をしていない。

図表2-23 運動の頻度（学部）



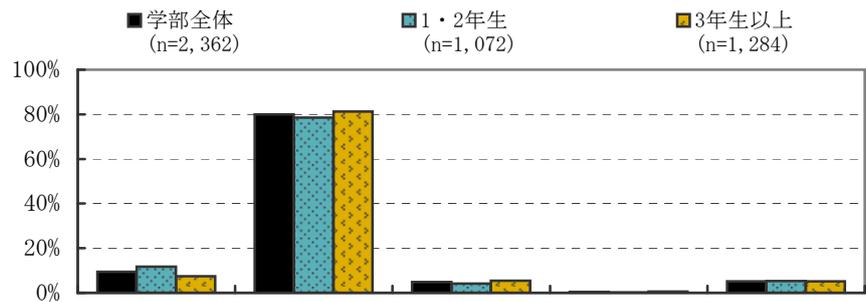
図表2-24 運動の頻度（大学院）



6. 睡眠

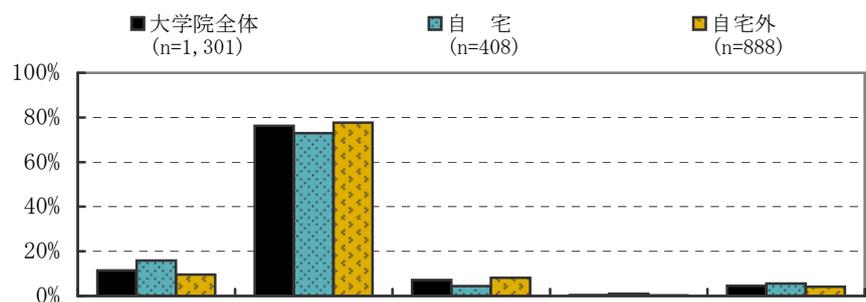
1日あたりの睡眠時間について、学部生・大学院生ともに「5～8時間未満」（学部生の80.0%、大学院生の76.2%）の割合が高いが「5時間未満」の割合も10%前後ある。

図表2-25 1日あたりの睡眠時間（学部）



		合計	5時間未満	5～8時間未満	8～10時間未満	10時間以上	無回答
学部全体		2,362	9.5%	80.0%	4.8%	0.4%	5.2%
性別	男	1,468	9.2%	80.0%	5.2%	0.4%	5.2%
	女	889	10.0%	80.2%	4.3%	0.4%	5.1%
文系・理系別	文系	1,078	7.8%	81.6%	4.9%	0.4%	5.3%
	理系	1,282	10.9%	78.7%	4.8%	0.5%	5.1%
学年別	1・2年生	1,072	11.8%	78.6%	4.1%	0.2%	5.3%
	3年生以上	1,284	7.5%	81.3%	5.5%	0.6%	5.1%
住居区分別	自宅	932	10.9%	81.0%	2.9%	0.4%	4.7%
	自宅外	1,423	8.6%	79.5%	6.0%	0.4%	5.5%

図表2-26 1日あたりの睡眠時間（大学院）



		合計	5時間未満	5～8時間未満	8～10時間未満	10時間以上	無回答
大学院全体		1,301	11.5%	76.2%	7.1%	0.5%	4.6%
性別	男	904	11.2%	77.8%	6.4%	0.7%	4.0%
	女	391	12.5%	72.4%	8.7%	0.3%	6.1%
文系・理系別	文系	345	13.0%	69.9%	10.7%	0.6%	5.8%
	理系	955	11.0%	78.5%	5.8%	0.5%	4.2%
課程区分別	博士前期（修士）	967	10.5%	78.0%	6.9%	0.4%	4.1%
	博士後期（博士）	334	14.4%	71.3%	7.5%	0.9%	6.0%
住居区分別	自宅	408	15.9%	73.0%	4.4%	1.0%	5.6%
	自宅外	888	9.6%	77.7%	8.2%	0.3%	4.2%

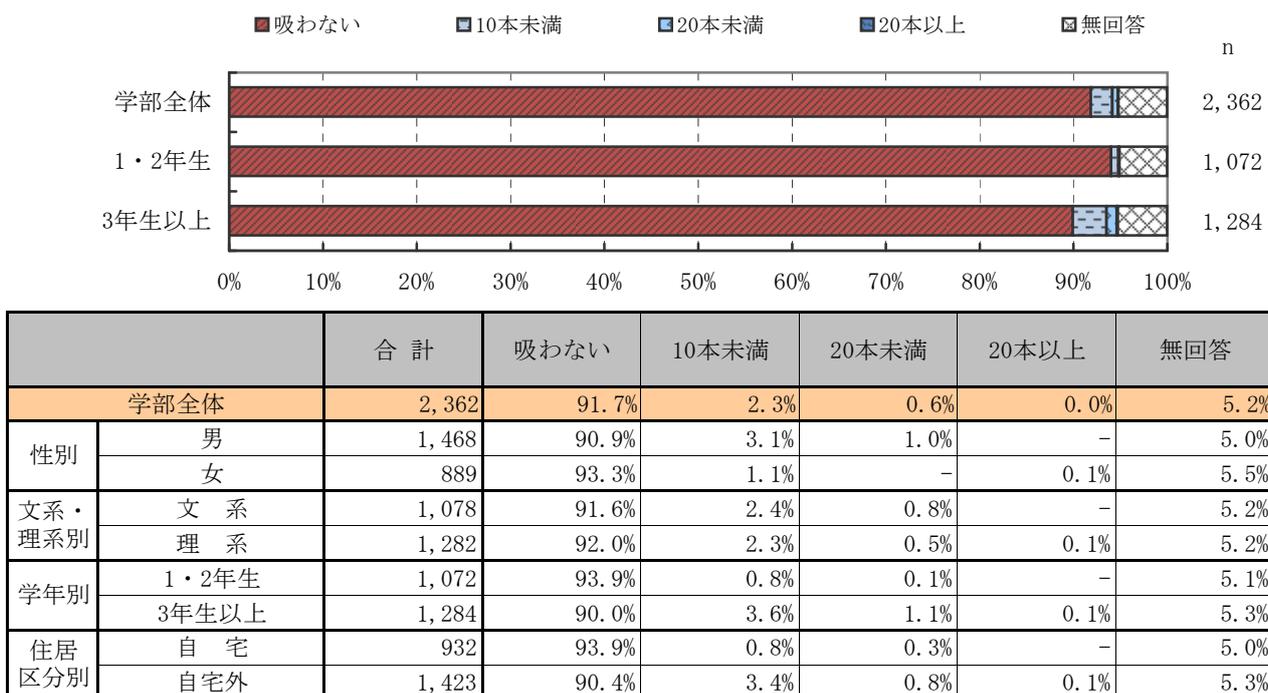
7. 喫煙

1日あたりの喫煙本数について、学部生の91.7%、大学院生の89.5%が「吸わない」と回答している。前回調査（学部生93.9%、大学院生88.2%）や前々回調査（学部生92.2%、大学院生82.7%）の結果を見ると、長期的に見て、大学院生で喫煙をしない割合は増加傾向にある。

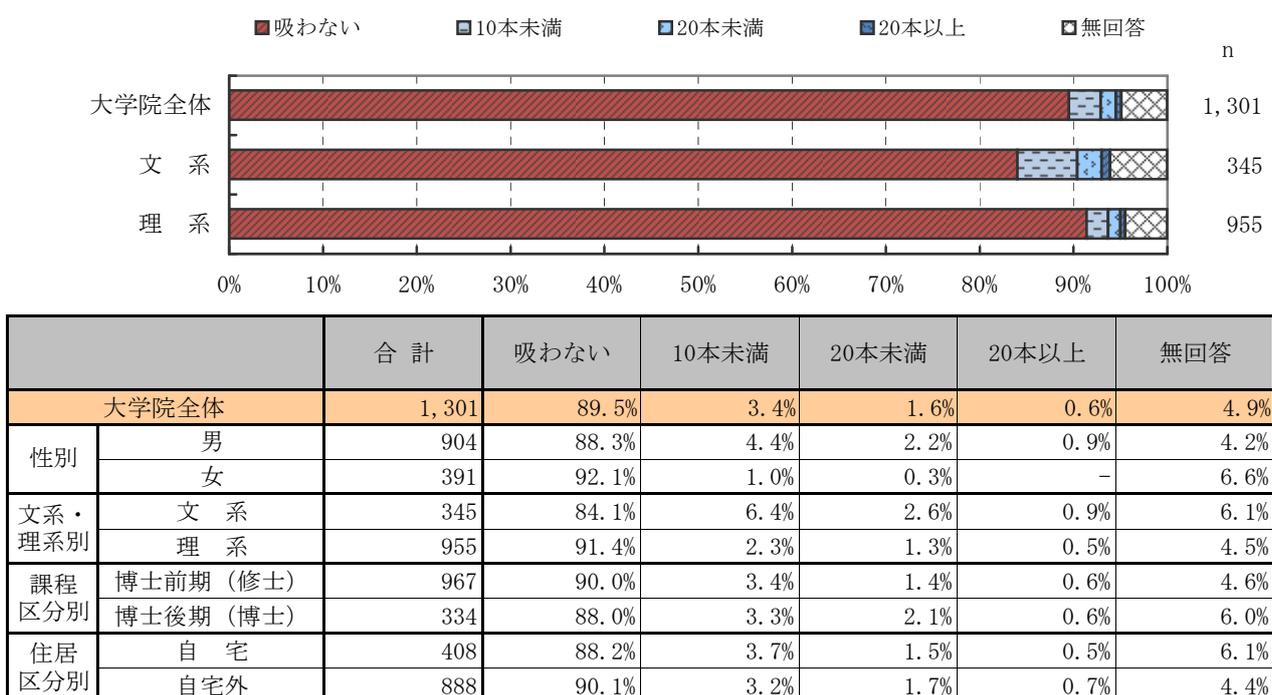
回答者属性別に見ると、学部生では「学年別」の差異が最も大きい、1・2年生で93.9%、3年生以上で90.0%あり、両者の開きは約4ポイントである。

一方、大学院生では「文系・理系別」の差異が最も大きく、文系学生で84.1%、理系学生で91.4%であり、両者の開きは約7ポイントである。

図表2-27 1日あたりの喫煙本数（学部）



図表2-28 1日あたりの喫煙本数（大学院）



8. 飲酒

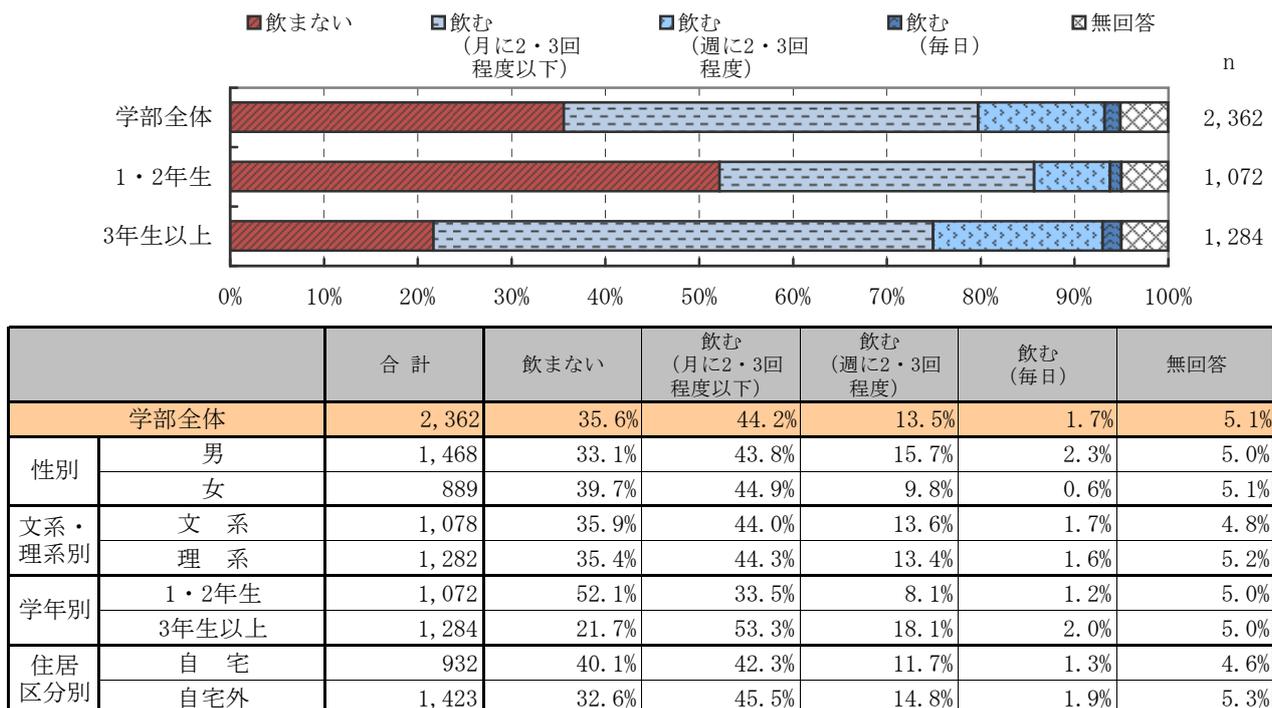
(1) 飲酒頻度

飲酒頻度について、「飲む（月に2・3回程度以下）」「飲む（週に2・3回程度）」「飲む（毎日）」を合わせたお酒を飲む学生は、学部生の59.4%、大学院生の72.4%である。

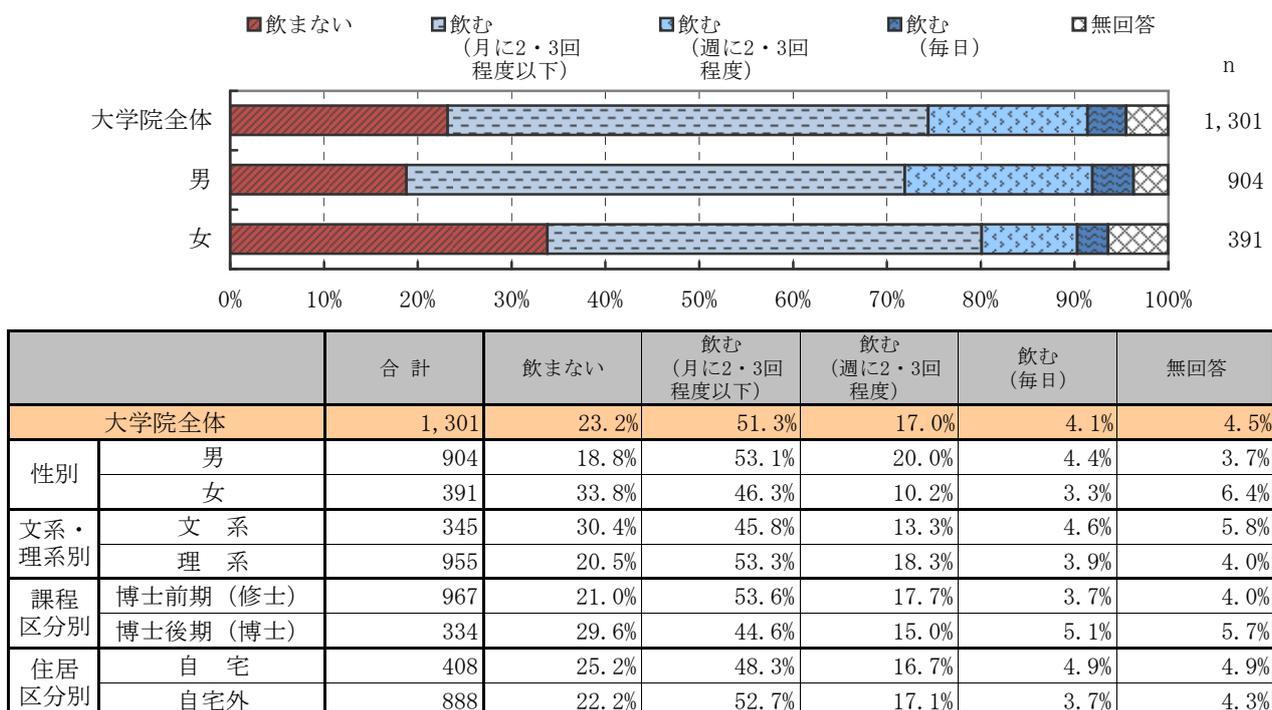
回答者属性別に見ると、学部生では、「学年別」の差異が最も大きく、1・2年生では42.8%であるのに対し、3年生以上では73.4%が飲酒している。

一方、大学院生では、「性別」の差異が最も大きく、女は59.8%であるのに対し、男は77.5%が飲酒している。

図表2-29 飲酒頻度（学部）



図表2-30 飲酒頻度（大学院）



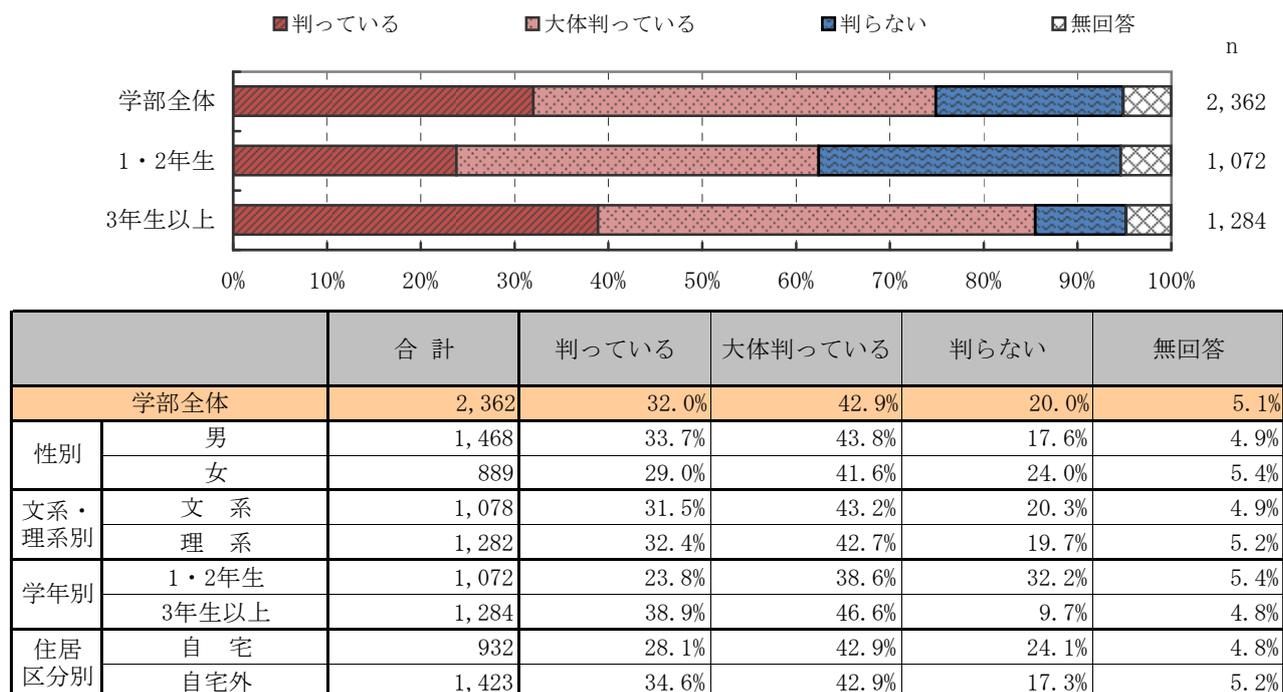
(2) 適度な飲酒量の把握状況

適度な飲酒量の把握状況について、「判っている」「大体判っている」を合わせた適度な飲酒量を概ね把握している学生は、学部生の74.9%、大学院生の87.8%である。前回調査（学部生88.3%、大学院生86.5%）の結果を見ると、学部生で適度な飲酒量を概ね把握している割合が減少している。

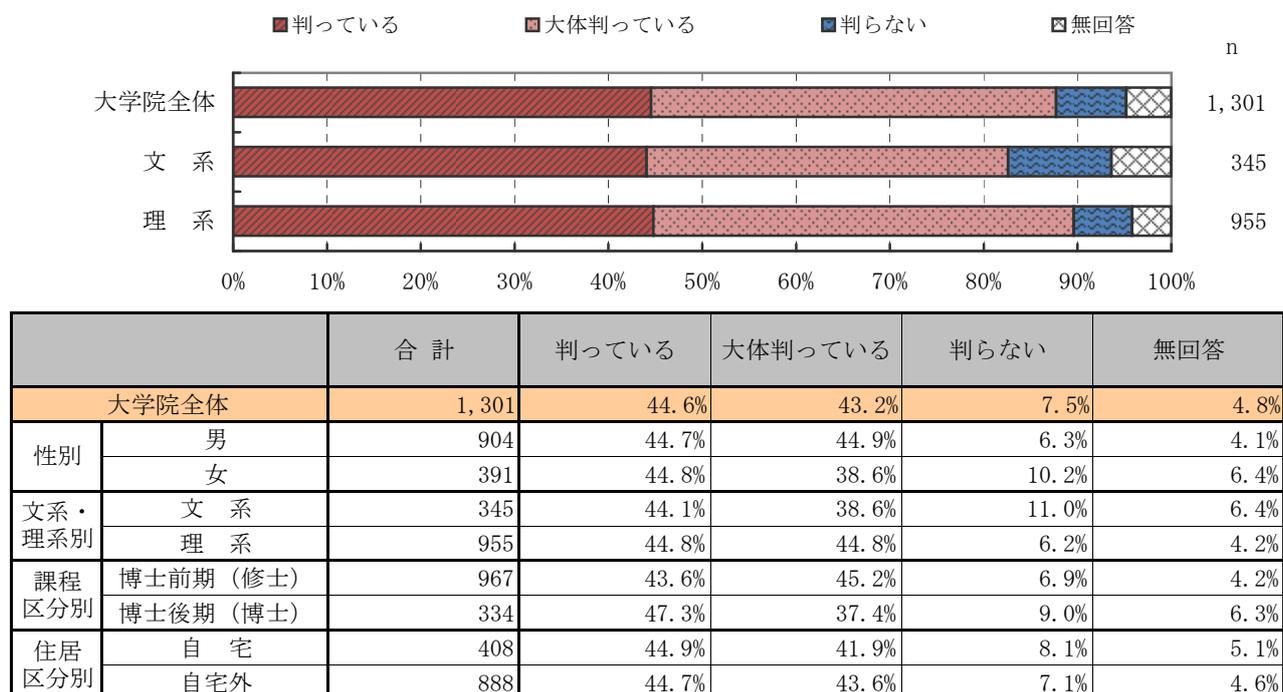
回答者属性別に見ると、学部生では、「学年別」の差異が最も大きく、1・2年生の62.4%、3年生以上の85.5%は飲酒量を把握している。

一方、大学院生では、「文系・理系別」の差が最も大きく、文系学生の82.7%、理系学生の89.6%は飲酒量を把握している。

図表2-31 適度な飲酒量の把握状況（学部）



図表2-32 適度な飲酒量の把握状況（大学院）



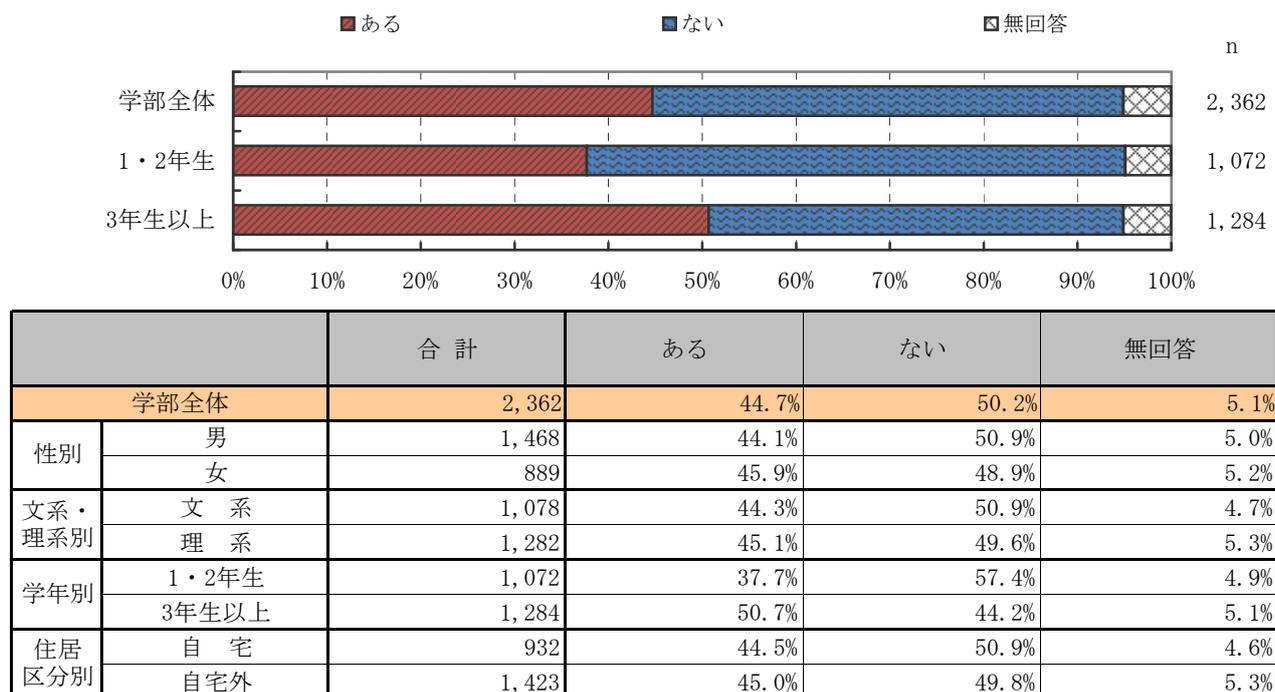
(3) 一気飲みに関わった経験

一気飲みに関わった経験について、学部生の44.7%、大学院生の42.4%が「ある」と回答している。回答者自身の一気飲みの経験の有無について回答を求めた前回調査で「ある」と回答した学生は、学部生の57.5%、大学院生の65.4%であり、一気飲みに関わる機会は減少していることがうかがわれる。

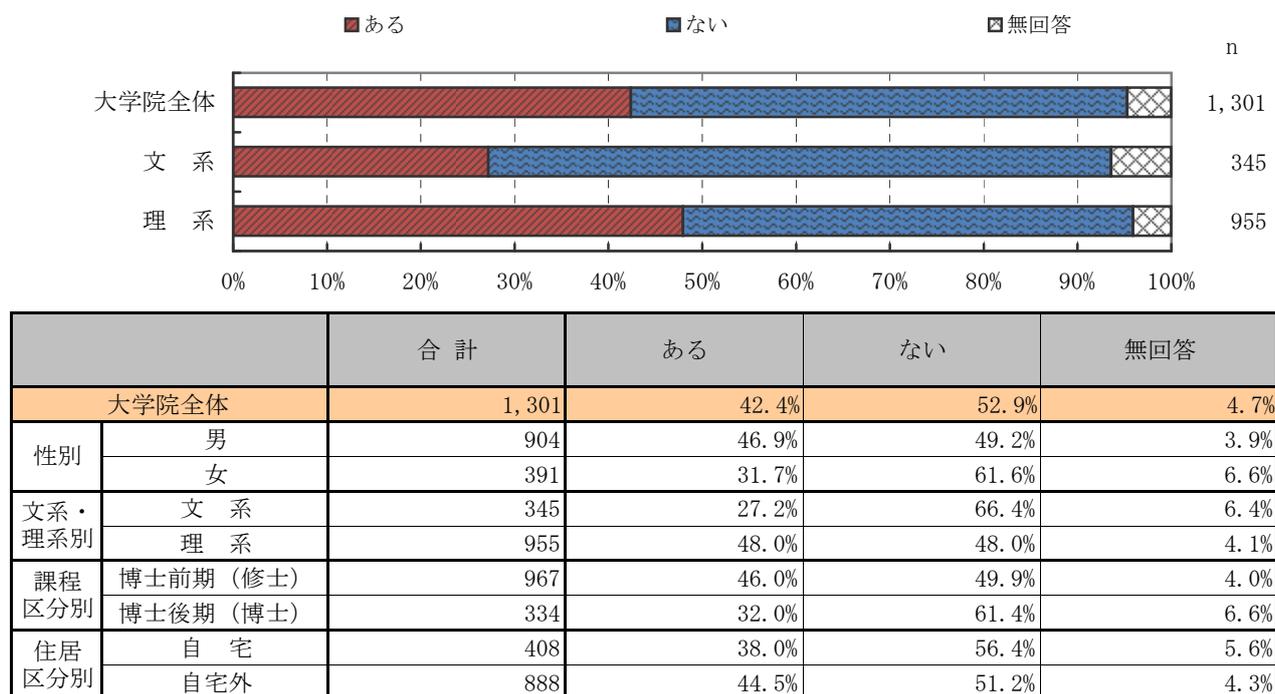
回答者属性別に見ると、学部生では「学年別」の差異が最も大きく、1・2年生で一気飲みに関わった経験があるのは37.7%であるのに対し、3年生以上では50.7%が関わっている。

一方、大学院生では「文系・理系別」の差異が最も大きく、文系学生で一気飲みに関わった経験があるのは27.2%であるのに対し、理系学生では48.0%が関わっている。

図表2-33 一気飲みに関わった経験（他の人がしているのを見た経験を含む）（学部）



図表2-34 一気飲みに関わった経験（他の人がしているのを見た経験を含む）（大学院）

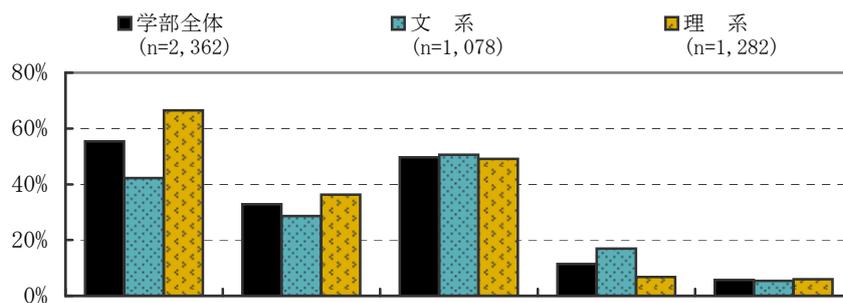


9. 学生保険への加入状況

学生保険への加入状況について、「いずれにも加入していない」という未加入の学生は学部学生の11.4%、大学院生の9.9%であった。前回調査（学部生10.8%、大学院生10.2%）や前々回調査（学部生9.2%、大学院生13.6%）の結果を見ると、未加入の学生の割合は、大学院生では減少が続いているが、学部生では増加している。

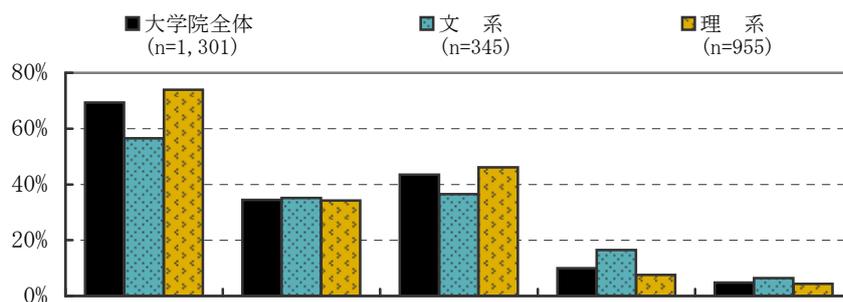
回答者属性別に見ると、学部生、大学院生ともに理系と比較して、文系の未加入率が高い。また大学院生で博士前期（修士）と比較して、博士後期（博士）の未加入率が高い。

図表2-35 学生保険への加入状況（学部）



		合計	学生教育研究災害傷害保険 (学研災)	学生教育研究賠償責任保険 (学研賠)	大学生生活協同組合の学生総合共済	いずれにも加入していない	無回答
学部全体		2,362	55.4%	32.8%	49.7%	11.4%	5.7%
性別	男	1,468	59.3%	34.1%	50.6%	9.8%	5.7%
	女	889	48.8%	30.5%	48.6%	14.2%	5.5%
文系・理系別	文系	1,078	42.2%	28.6%	50.6%	16.9%	5.4%
	理系	1,282	66.5%	36.3%	49.1%	6.8%	5.9%
学年別	1・2年生	1,072	57.5%	30.5%	47.6%	11.4%	5.7%
	3年生以上	1,284	53.7%	34.7%	51.7%	11.4%	5.6%
住居区分別	自宅	932	55.6%	31.3%	42.5%	14.4%	5.3%
	自宅外	1,423	55.4%	33.9%	54.5%	9.5%	5.8%

図表2-36 学生保険への加入状況（大学院）



		合計	学生教育研究災害傷害保険 (学研災)	学生教育研究賠償責任保険 (学研賠)	大学生生活協同組合の学生総合共済	いずれにも加入していない	無回答
大学院全体		1,301	69.3%	34.4%	43.5%	9.9%	4.8%
性別	男	904	72.6%	36.0%	45.6%	8.6%	3.8%
	女	391	61.6%	31.5%	38.9%	12.8%	7.4%
文系・理系別	文系	345	56.5%	35.1%	36.5%	16.5%	6.4%
	理系	955	73.9%	34.2%	46.1%	7.5%	4.3%
課程区分別	博士前期（修士）	967	70.4%	35.0%	46.4%	8.2%	4.3%
	博士後期（博士）	334	66.2%	32.9%	35.0%	15.0%	6.3%
住居区分別	自宅	408	65.7%	37.3%	39.7%	11.3%	5.6%
	自宅外	888	71.1%	33.2%	45.4%	9.2%	4.5%